

平成 25 年度 教育 研究 業績 書

氏名 三木 理史

最終学歴	関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程中退	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本地理学会・人文地理学会・歴史地理学会・奈良地理学会・社会経済史学会・経営史学会・日本産業技術史学会・地方史研究協議会・北海道東北史研究会・交通史学会・鉄道史学会・日本植民地研究会	
専門分野	歴史地理学・交通地理学／植民地鉄道史・写真史	
研究課題	「満洲」における植民地輸送史の研究／近代日本の地理写真史の研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学講読・調査法(八) (通年) ・地理学演習(八) (通年) ・地理学卒業演習(八) (通年) ・交通地理学(後期) ・人文地理学概論Ⅰ (前期) ・日本地誌Ⅰ(前期) ・日本地誌Ⅱ(後期)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化地域特論(通年) ・人文地理学演習Ⅰ(通年) ・人文地理学演習Ⅱ(通年) ・
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・観光論 ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<p>【競争的資金獲得】平成25～28年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「南満洲鉄道の輸送に関する歴史地理学的研究」(研究代表者)、平成25～28年度前同基盤研究(A)「帝国日本の移動と動員」(研究代表者：小樽商科大学商学部特任教授・今西一、研究分担者)、平成25～28年度前同「サハリン(樺太)島における戦争と境界変動の現代史」(研究代表者：北海道大学名誉教授原暉之、研究分担者)、平成23～25年度前同基盤研究(B)「近代日本の地方拠点都市の成長と人間主体の社会空間的活動に関する歴史地理学的研究」(研究代表者：富山大学人間発達学部教授山根拓、研究分担者、研究継続中)</p> <p>【公費による海外調査】アメリカ合衆国：ハワイ・ボストン・ワシントンDC(8月31～9月7日／科学研究費による)</p>	
【教育上の特記事項】	<p>地理学科3年次ゼミでは、野外巡検にあたり報告書『東京巡検報告書－東京都とその周辺の地域調査－』(三木ゼミ調査法・野外研究調査報告書第17号,2014年)の企画・指導・引率・編集・発行を例年通り実施するつもりであったが、受講生の文章力低下などが原因して、ついに実現できなかった。その他、関西大学文学部(前期：歴史地理学担当)、関西大学大学院文学研究科博士課程前期(後期：歴史地理学研究B担当)、奈良女子大学文学部(前期：地域環境学特殊研究A)佛教大学文学部(後期：地域文化特講担当)に各々出講した。</p>	
【社会的活動】	<p>【委員等】愛知県史調査執筆委員／伊賀市史執筆委員／茨木市史執筆委員／(社)全国樺太連盟「樺太の歴史」執筆委員</p> <p>【学会役員等】歴史地理学会評議員／鉄道史学会評議員／IGC京都地域会議組織委員</p> <p>【市民講座等】毎日文化センター連続講座講師「関西の鉄道史－水都大阪と鉄道の発展－」(4～9月)、同「主要駅にみる都市と鉄道のあゆみ」(10～3月)</p>	
【学内活動】(学内職歴を含む)	<p>全学企画委員／文学部企画委員／博物館委員／全国高校生歴史フォーラム審査委員／居合道部顧問／サークル・旅と鉄道顧問／ソフトボールサークル顧問</p>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①人文地理学会編『人文地理学事典』丸善出版	共著	2013年 9月	丸善出版	「交通地理学」の項目を分担執筆し、その成り立ちや近年の傾向を概説
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①南満洲鉄道の成立と大豆輸送一駅勢圏の形成とその規定要	単著	2013年 4月	人文地理学会『人文地理』第65巻 2号	南満洲鉄道の大豆輸送を駅勢圏の概念を用いて再考したもの。
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①Japanese Colonialism in Japan Sea Rim Region after Russo-Japanese War: Role of Inspection Team from Niigata Prefecture, in Japan toand Economic Importance of Karafuto Prefecture	単独	2013年 8月	IGU Kyoto 2013 Joint Session	日露戦争期の新潟県の実業視察団派遣を通じて、環日本海地域における樺太の位置づけについて考察を加えたもの
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①書評 山本理佳『「近代化遺産」にみる国家と地域の関係性』	単著	2013年9月	歴史地理学会『歴史地理学』第55巻 4号	山本氏の著書に対する書評
②書評 湯沢威・小池滋・田中俊宏・松永和生・小野清之共著『近代ヨーロッパの探求⑭ 鉄道』	単著	2013年6月	日本西洋史学会『西洋史学』第249号	湯沢氏ほかの共著書に対する書評
③書評 平岡昭利『アホウドリと「帝国日本」の拡大』	単著	2013年6月	日本植民地研究会『日本植民地研究』第25号	平岡氏の著書に対する書評
④書評 老川慶喜『埼玉鉄道物語』	単著	2013年6月	経営史学会『経営史学』第43巻 3号	老川氏の著書に対する書評
⑤				